

「私たち人間と川との素滴な関係」

青森県県土整備部河川砂防課長
西村 弘之

平成23年は3.11の地震、それに伴った津波や、9月の馬淵川を襲った台風など自然災害が多い年でした。

お亡くなりになられた方々には心からお悔やみを申しあげると共に、被災された方々の1日でも早い復旧、復興をお祈りします。

こんな災害を目の当たりにし、自然の力に対し人間の命がいかに微々たるものであるか、また、人間が”生きているとは？”どんなことか、と考えるようになったのは私1人ではないと思います。



私たちの体は数十兆個もの細胞からできているそうです。

そして、それらの細胞は新陳代謝により約7年で入れ替わるのだそうです。

そうなる”今の”私たちの体は、お母さんから生んでもらった体ではありません。では、この体はどこから来たのでしょうか？・・・分からなくなってしまいます。

古い細胞は死んで、新しい細胞が生まれ、絶えず水の流れるように入れ替わっているというのが私たちの体ということでしょうか。そして、その流れが自然災害や交通事故、病気によって断ち切られた時が体の死ということでしょうか。細胞は何からできているかというと、”食べ物”から、ということになると思います。毎日いただく米や野菜、魚などが細胞の原料です。

植物の成分を調べると90%以上は水です。私たちの体も約70%は水とされています。



目次:

「私たち人間と川との素滴な関係」 P1
J
P2

平成23年度活動報告 P2
サークル「母なる川」 J
P3

平成23年度活動報告 P3
ジョイリバーおいらせ

総会・演奏会 P4

天田内川源流の地 //

河川技術講演会 P5

薦川清掃活動 //

イワナ産卵床づくり P6

平成24年度あおもりの川を愛する会総会のご案内 //

事務局より //

ハイライト:

- ・お母さんから生んでもらった体ではありません?(P1)
- ・中国の輸出産業の一大集積地(P2)
- ・宗家家元・館岡屏風山ってだれ?(P4)

米や野菜は植物ですし、魚は動物です。みんな命です。結局、私たちは植物や動物の命を引継ながら、生きていくということになりそうです。

では、この植物や動物がどうやって生きていくかと考えると、動物は植物を食べています。植物は、水と二酸化炭素と日光による光合成で成長します。水のもとには海面や水面から立ち上る水蒸気です。それが雲になります。そして雨となって地上に降り注ぎ、川となって流れる途中で植物や動物に吸収され、私たちの細胞となり私たちの命となっている、ということでしょうか。

大きな目で見ると、この大いなる水循環そのものが一つの大きな命であり、私たちの体はその一部分をなす小さな水循環ということになると思います。そして川はこの水循環の中で、ちょうど地球の血管のような大切な役割を果たしています。



” 生きている ” と言うことは、 ” 私たち人間と川との素滴（ステキ）な関係 ” です。

そんな関係の中では、 ” ステキ ” のテキは敵（てき）ではなく、清らかな水の一滴（しずく）が心からの言い方だと思っています。青い森から流れてくる川を愛せる私たち ” あおもりの川を愛する会 ” 会員はなんと幸せな人間なのでしょう。

これからもみんなで、川と人間の素滴な関係を築いていきましょう。

● サークル「母なる川」 平成23年度活動報告
サークルリーダー 和島 隆志

「河川の視察を通して河川文化を考える」が活動主旨の当サークルでは、本年度の活動として今年1月に中国の珠江を視察してきました。

珠江（しゅこう）は中華人民共和国の南部を流れる川で、水源は雲南省、長さ約2,200kmを経て南シナ海に注いでいます。

河口部は三角州が広がり、河口両端の香港・マカオを含め深セン・広州・東莞・珠海等の大都市が集中していて、一帯を珠江デルタと呼ばれています。また、珠江デルタには数多くの外資系の工場があり、河口部に点在するコンテナ港から世界中に生産された物が輸出されていて、中国の輸出産業の一大集積地となっています。



2012. 1. 26

珠江はもともと広州から河口までの200kmに満たない区間の呼び名であったが、次第に上流で合流する三つの大河と珠江デルタを形成する多くの分流の総称となったようです。

流域面積が長江に次いで中国第二位の広さをもつ珠江は、上流部では他の河川と合流するごとに、また流れる地域が変わるごとにその呼び名を変えていて、合流する三つの大河のうち本流ともいえる西江は6つ以上の呼び名があるそうです。

以前、視察した長江も揚子江とも呼ばれていましたが、本来は長江の下流の一部の地域での呼び名が揚子江だったようです。



2012. 1. 26



2012. 1. 26

水の流れはその地形に合わせて、急流であったり、穏やかな流れであったり、時には地中に潜り、時には滝になったりしながら、形を変え、名を変え、しかし、絶えず流れています。

川の流れに人生を重ね、思わず「川の流れのように」を口ずさんだ視察でした。

ヒバの植樹



カヌー体験



●ジョイリバーおいらせ 平成23年度活動報告 サークルリーダー 中野渡 悟

ジョイリバーおいらせでは、おいらせ知の会と共同で例年ヒバの植樹と川くだりを実施しています。今年は23年6月25日に植樹を、23年7月31日に川くだりに変えてカヌー体験教室を実施いたしました。どちらもたくさんの会員の参加があり、また地域の子供会の参加もあり、植樹36名、カヌー体験で49名の参加をみました。川くだりはここ3年ほど実施していませんが夏の渇水期でありスタッフも多く必要とすることから、これからも子供が参加するものはカヌー体験にしぼり川くだりは大人たちだけで実施したいとの意見が多くなっています。

会員の方々の意見ではもう少し水量が多い河川で川くだりをしたいとのことで何とか実施したいと思っております。今まではジョイ【楽しむ】が少々足りなかったかと思うので原点に返り川を楽しむことを企画したいと思っています。

●平成23年度 総会・演奏会

あおもりの川を愛する会 事務局

<平成23年6月4日（土）於：青森国際ホテル>

第16回定時総会を開催致しました。当日は、日本河川協会虫明功臣会長に出席して頂きご挨拶を頂きました。総会終了後、`五所川原`出身のすこっぷ三味線 宗家家元・館岡屏風山による『すこっぷ三味線演奏会』を開催いたしました。

演奏会に参加された会場の中より佐々木幹夫会長ほか数名は、宗家家元から「スコップの持ち方」、「バチの使い方」の指導を直接受け、すぐさま宗家家元・館岡屏風山と一緒に1曲演奏、短い時間ではありましたが、演奏会が盛況に行われました。



日本河川協会虫明功臣会長



宗家家元・館岡屏風山と演奏

●天田内川源流の地

あおもりの川を愛する会 事務局

<平成23年7月29日（金） 於：天田内川源流>

平成23年7月29日に23年度事業のひとつであります標柱の建立を青森市西部に流れる天田内川の源流の地にヒバ材の標柱を建立しました。同会は毎年1ヶ所、源流の地の標柱を建立しており、今年で6柱目となりました。

参加者25名は、同日、午後1時半ころに青森市野木和公園駐車場に集合し、5台の車に分乗して県道青森五所川原線を五所川原方面に向かい、約20分後に予定地に到着しました。建立の場所を決め佐々木会長のツルハシの作業が開始となり、それぞれツルハシ・スコップを交代しながら直径約1m、深さ約70cmの穴を掘りました。そして標柱を前面からと側面からの標柱の位置を確認して土を埋め戻しました。

建立の地は、うす曇の天候でしたが、その時だけは霞が晴れてヒバ材の標柱がとても良く見えました。（参加者25名）



佐々木会長作業開始



記念撮影

●平成23年度 河川技術講演会

あおもりの川を愛する会 事務局

<平成23年8月4日（木）於：五所川原市ふるさと交流圏民センター>

平成23年8月4日 五所川原夏祭り「立ちねぶた」の開幕日に、五所川原市平山市長挨拶を始めとしてオルテンシアで「河川技術講演会」が開催されました。

青森河川文化講演会は平成10年から開催され今回で14回目となります。

講演会の内容は今年の3・11の震災に伴って、「東日本大震災による被害の概要と国土交通省の対応」（講師 東北地方整備局 川村河川調査官）と「2011東北地方太平洋沖地震津波」（講師 佐々木八戸工業大学院教授）の講演が行われました。



講演会場



平山市長



三村知事

●平成23年度 蔦川（つたがわ）清掃活動

あおもりの川を愛する会 事務局

<平成23年9月3日（土） 於：奥入瀬溪流・蔦川周辺 >

第9回目となります蔦川（旧十和田湖町）の清掃活動が平成23年9月3日に行いました。例年通り分別袋を渡し燃えるごみ・燃えないごみと分けて、会員ほか約90名参加されごみ拾いを行いました。

年1回ではありますが、ゴミは年々少なくなっています。

当会としまして年1回の清掃活動ですが、今後も継続し青森県に来て頂いた観光客に綺麗な蔦川を見て頂きたいと考えております。



佐々木会長挨拶



参加者写真

●イワナ産卵床づくり

あおもりの川を愛する会 事務局

<平成23年10月7日（金）於：鳶川小溪流>

今回で5年目になります「イワナの人工産卵床」を設置しました。鳶川の小溪流の枝沢2号と、そこから少し上流に行った所大倉沢の計2ヶ所に人工産卵床を作りました。今年も連携の取れた作業で、とてもすばらしい産卵床が出来ました。数日後、産卵床にイワナの卵が今年も産卵されていました。参加された方々お疲れ様でした。



確認された卵



枝沢2号



大倉沢

●平成24年度 あおもりの川を愛する会総会のご案内

あおもりの川を愛する会 事務局



平成24年度の総会を5月26日（土）に予定しております。総会後には、講演会の開催も予定しております。詳細につきましては、後日改めてご案内いたします。ご繁忙中恐縮に存じますが、万障お繰り合わせの上、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

●あおもりの川を愛する会 事務局より

あおもりの川を愛する会

「あおもりの川を愛する会」は今年で14年目を迎えました。会員数は現在210名となっています。今年度も、会員の協力のもとさまざまな活動を行なう事が出来ました。これからも会の活性化が図れるよう、頑張っていきたいと思っております。ご協力よろしくお願い申し上げます。

【事務局】 〒030-0111
青森県青森市荒川字柴田102番地1

TEL:017-729-0922

FAX:017-739-3561

E-mail:kon-h@nishidagumi.co.jp